

# ASAPカンボジア通信

Asia School Attendance Partnership NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会



念願の Mother to Mother 活動の作業所誕生

## 2015.10

- 第 24 回視察訪問のご報告 長谷川 理事長…P1
- 特別寄付のお願い…P2
- 支援校の様子…P3～4
- Mother to Mother 念願の作業所完成…P5～6
- 啓明学園の高等部生が参加 …P7
- その他活動の様子…P8
- 通常総会のご報告…P9～12
- 第 25 回支援ツアーのご案内…裏表紙

# Vol.16

## 第24回視察訪問のご報告

理事長 長谷川 安年

去る平成 27 年 8 月 3 日～8 日にわたり、第 24 回目の支援ツアーを実施致しました。

(4 月下旬に 23 回目の訪問を、副理事長を含む 3 名で実施致しました。)

不肖私は本年 5 月に転倒し、その影響で渡航直前に緊急手術を受けることとなり急遽不参加となりましたが、副理事長の大沼、理事の細谷氏をはじめとする ASAP 会員 4 名、啓明学園高等部生徒 14 名 (内 2 名引率者) 総勢 18 名での訪問を無事終了することができました。

今回は Mother to Mother 活動の作業場の落成式を行うと共に、各支援の現状調査など充実した内容となった旨の報告を受けました。

支援を開始し 10 年が経過しましたが、その間漸くカンボジアの教育行政も充実に向かい、学校の教員の待遇、人数なども向上してまいりましたが、地区や学校によつての格差がかえつて開いているとの印象もあります。

私が今一番気になっているのは、トロク、タットム小学校と同じ村にある「ワットルン小学校」の校舎です。ここはブロック作りの 5 教室、木造作りの 4 教室、3 教室の 3 棟からなる

大きな学校ですが、木造校舎の屋根には穴が沢山あき、主要な柱の根元が全てシロアリ被害にあい、大変危険な状況となっています。

ヤシの葉でできた教室とは違い、一見情緒ある建物に見えてしまい、また、建て替えるとなると最低 5 教室という高額な工事費用となるために、支援がなかなか受けられずにいます。

ASAP に支援要請が届いた 2 年前、当時の工事費用は 500 万円でありました。予算的に到底無理であったため、トロク、タットム小学校等状況の安定してきた学校は支援を徐々に減らしていくなどして、建て替え資金を貯めてきました。今年度どうにか目標額に達することができるかと思つたのですが、急激な円安で、工事費用は 700 万近くにあがってしまい、費用は大幅に足りません。

何とかして子ども達を安全な教室で勉強させたいという思いがあります。誠にお願いしにくい事ではありますが、今回特別支援を募ることに致しました。後に詳細を記しましたが、皆様のお力添えを頂けますことを願っております。



# ワットルン小学校校舎 建て替えに力を貸して下さい

依頼を受けて視察した様子



現在生徒数 503 名のワットルン小学校の校舎は一見問題なく見えますが、主要な柱の多くがシロアリ被害で折れて大変危険な状態になっています。5 教室の建築費用 500 万円を目標に資金を貯めてきましたが、円安が進み 200 万円ほどが足りません。子ども達が安全な教室で勉強できるように皆様のお力をお貸し頂けないでしょうか。

ワットルン小学校建て替えプロジェクトに 2 万円以上ご寄付頂いた方には、教室に写真やメッセージカードを、5 万円以上ご寄附を頂いた方には、更に記念プレートにお名前を刻ませて頂きます。



筋交い部分が折れてしまっています



屋根には穴が開き、大黒柱が折れてしまっておりません



# 支援校の様子

## トロク、タットム小学校の様子

今回の訪問でタットムとトロク小学校に「今問題なことはありますか？」と聞いたところ「特にありません」という返事がきました。**なんて素晴らしい返事でしょうか！** 9年前にぼろぼろの校舎の建て替えから始まった支援ですが、教師不足、足りない教科書や教材、不衛生な環境、飲料水問題、雨漏り等、次々現れる問題に頭を抱えてきた中で、こんな言葉を聞ける日がくるとは嬉しい限りです。見渡せば、トロクとタットム小学校はゴミも落ちてなく、書棚も整理整頓されています。タットム校は学校があるバンテッスレイ郡一番の学校に選ばれ、卒業生が先生になって戻ってくる良いサイクルが生まれ、最貧困家庭への仕事の提供もできる様になり、未就学児童もゼロになりました。ASAPの掲げる「継続した支援」の素晴らしい成果です。更に日本への招聘プログラムの成功で、両校との信頼関係は大変深いものとなって活動を支えています。

今年、国からのお給料も現在150ドルにまで上がったこともあり、今回の訪問ではタットム、トロク小学校への支援額を減らし、もっと困っている学校を助けなければならないという事を伝えました。先生方は快く了承してくれました。

## 多摩川コールタメイ小学校の様子

木々が生い茂るジャングルの中にポツンと建った小さな小学校でしたが、今では図書室や、小さいながらもソーラーによる電気も整い、校庭にはタイヤ遊具やバスケットゴール、校庭の奥にはドラゴンフルーツ畑が広がり、学校の横に小さなお店も誕生しました。

ヴィラ校長先生は、大変熱心な先生で、トロピアンプレイ小学校、トロピアンプレイ中学校の校長を兼ねています。激務がたたって昨年体調を崩し倒れてしまいました。あの地区にヴィラ先生は欠かせない存在です。理事長が治療費を援助し、現在は健康を取り戻し無事仕事に復帰できました。本当に良かったです。



校庭奥に伸びるドラゴンフルーツの様子。ドラゴンフルーツには赤と白の2種類があり、美味しく高く売れる赤を育てています！今年初収穫があり生徒と食べたと報告がありました。

## トロピアンプレイ中学校の様子

昨年8月に完成したトロピアンプレイ中学校は今年の10月の新学期から2年生が誕生します。各教室の入り口にはラッシュジャパンの社員の皆様から贈られた学級文庫があります。

昨年啓明学園生徒さん達からバスケットゴールを寄付頂いたのですが、先生達含め誰もバスケットボールのやり方を知りませんでした。そこで今回の訪問では啓明学園高等部の生徒さんたちがバスケットボールの方法を教える計画をたてました。ドリブルはできるのだろうか...という心配もよそに、男の子は勿論女の子たちもどうにかルールを覚え、試合は大白熱！**村にバスケットボールが広がったら嬉しいですね。**



啓明学園を通じて、昭島ソロプチミスト様から寄贈されたバスケットゴール

## キヨタチュム小学校

2014年1月に5教室の校舎を寄贈した学校です。この学校の建つ地区は地下水が出ず、学校の水事情は大きな問題でした。赤十字まで支援に乗り出していたのですが解決できずに行きました。(赤十字が支援するというのはよっほどの事といいます) 今回の訪問で、喜ばしいことに、大きな貯水池が作られたことがわかりました。

水がなくて先生もいないと涙を流していた校長先生も、穏やかな笑顔になっていました。

ところが寄贈した教室を視察したところ、掃除が行き届かず床にはゴミが沢山！教科書も床においてあります。言い訳する校長に、ASAPが支援している学校ではそれは通用しないことを伝えました。思えばトロク、タットム小学校の支援当初も同様の状態でした。口うるさく改善を促していこうと思います。



教室の床はゴミだらけ...  
ASAPに言い訳は通用しません！



学校裏に掘られた巨大な貯水池



## Mother to Mother 念願の作業所完成！

Mother to Mother 活動の「作業所」がとうとう完成しました。日本のお母さん達の困っていることと、カンボジアのお母さん達の困っていることをお互いが助け合って問題を解決するという活動主旨にご賛同頂き、(株)ラッシュジャパンより200万円 独立行政法人国際協力機構(JICA)より100万円、庭野平和財団より40万円、計340万円もの助成金を頂くことができたおかげです。

校長先生のご自宅にかわる、広くて衛生的な立派な作業場で作業を行えるようになりました。沢山の皆様のお蔭でカンボジアと日本のお母さんの助け合い運動はここまできました。より一層の責任を痛感しながら、新たなスタートを踏み出します！



落成式の様子

現在 23 人のお母さん達が仕事をして、彼女達の子ども 60 人の就学に役立っています。





現在日本で行っている仕上げのミシン作業をカンボジアに移行できるようにミシンを一台購入して特訓中です。また、床の上ではなく机の上で作業ができるようにもなりました



大きな収納棚を置き、布や製品を埃から守って収納できるようになりました。窓や入口には格子や鍵を付け、防犯もしっかりできるようになりました。



普通は家の外にあるトイレを家の中に作りましたが、こんなに綺麗です。



タオルを使う習慣がない村で、トイレに自主的にぶら下げられたタオル。日本滞在で学んだことを実践してくれて嬉しいです。



トンニラーさん 30 才  
子どもの人数 2 人

## Mother to Mother のマザー 紹介

トンニラーさんは、4年前ご主人をひき逃げ交通事故で無くしました。いきなり収入のなくなった彼女は生活が荒れ、子育て放棄に近い状態になってしまいましたが、Mother to Mother の仕事で収入を得られるようになったところ、子どもを学校へ通わすようになりました。

この様に、Mother to Mother 活動が最貧困家庭の子どもたちの就学に本当に役立っていると聞くと嬉しくなります。トンニラーさんは、今縫製技術向上のため訓練の真っ最中。頑張っしてほしいと思います。

## 啓明学園の高等部生12名が参加

東京昭島市にある啓明学園高等部生12人がワークキャンプとして参加しました。啓明学園では、Mother to Motherのお母さんに学園で使う布小物を縫ってもらっています。そのお母さん達と対面したり、トロピアンプレイ中学校でバスケットボールを教えたりと沢山の活動に取り組んで頂くことができました。



啓明製品を縫ってくれているお母さん達と対面。お互いに「有難う！」

次世代を担う若者達に地球の未来について考えてもらうきっかけになったらと願っています。

### ワークキャンプに参加して

#### 啓明学園2年生 佐藤 まりいさん

今回このワークキャンプに参加してとても良い経験ができました。(中略)まだ小学生なのに、学校が終わったら家の農作を手伝ったりするとても忙しい日々を送っています。そして学校ですら行けていない子ども達もいます。私は、日本に生まれてこうやって普通に学校で過ごせている、そんな当たり前の事がどれだけ幸せな事なのかをとっても感じました。私は改めて思いました。生きているからには一分一秒無駄にしたいくない、世界中で貧しい人々の為に何が出来るだろうというのを、もっともっとアイデアを出し合って世界を平和にしたいと思いました。でも私だけの力だけではだめなのです。みなと一緒にやるからこそ意味があると思います。

私は私の人生の中で起こる、良い行動、全ての出来事が何らかの方法でひとつにつながると信じたいです

#### 啓明学園2年生 新妻 文香さん

(中略)私がカンボジアから帰国するときに思ったのは、カンボジアの将来です。広大な自然、高層ビルが少ない広い空、すべてが美しいこんなカンボジアはどんどん発展していくと思います。そのとき私たち先進国が起こした失敗から学んだことを生かしてカンボジアにどう伝えるか、それがこれから一番大切になっていくのではないかと思います。



## 小学生だってボランティア！



6月、啓明学園小学校の生徒さん達にカンボジアの話をする為に伺いました。その後、3年生の皆さんが製品の紐通しを手伝ってくれました。難しいと思っていた子ども達も進むにつれ「もっとやりたい！」と意欲満々に！小さなボランティアを通して途上国について考えるきっかけになったら嬉しいです。

## いずみの会の皆様が今年も



ASAPのあるあきる野市でご活躍されている「いずみの会」様はカンボジアへの寄付を毎年届けて下さいます。今まで3つの井戸も寄贈頂いています。沢山の方のお力がカンボジアの子ども達の未来を開いています。

## 至誠学園の高校生が村に宿泊！



立川市の児童福祉施設「至誠学園」の男子高校一年生3名と職員2人の方が、8月末 ASAP 支援校を訪問し、完成したばかりの作業場に泊り宿泊体験をしました。隣接する村長さん宅での豚の解体作業を見学したり、村の田植えに参加したりと貴重な体験ができたとの報告を受けました。

## 明星大学ボランティアグループ BUKASの皆さんが訪問しました



BUKASさんは毎年支援活動でASAP支援先を訪問して下さっています。音楽指導が全く行われていない小学校にどうかして音楽を！というASAPの思いを受けて、現地での音楽指導を継続して頂いています。今年も9名の学生が訪問し、楽譜の読み方、木琴などに取り組んでくれました。

# 平成27年度 通常総会のご報告

去る8月19日に多摩川幼稚園にて平成27年度の通常総会が開催され、平成26年度事業報告、収支決算、平成27年度事業計画、収支予算が承認されましたので概要をご報告させていただきます。

## 1. 26年度事業の成果 (平成26年7月1日～27年6月30日の報告になりますので27年7月以降の内容は含まれていません)

### (1) 教育機関運営支援

- ・教科書、教具等の自主管理を目的した生徒一人に対し年間2ドルの「学校運営費用」をタットム、トロク、多摩川コールタメイ各小学校において継続するとともに、現時点で一番困窮しているキロタチュム小学校においても開始した。
- ・東京昭島ロータリークラブからソーラー2基と(多摩川コールタメイ小学校と作業場に設置)電子オルガン1台(多摩川コールタメイ小学校)が寄贈された。
- ・2014年11月、Panasonic「ポータブルソーラランタン10万台プロジェクト」より108台のポータブルソーラが支給された。
- ・(株)ラッシュジャパン助成金を元としたトロピアンプレイ中学校が完成し、2014年8月27日落成式を行った。
- ・東京秋川ロータリークラブ寄付による多摩川コールタメイ小学校の図書室が完成し、2014年8月28日寄贈式を行った
- ・Mother to Mother活動の作業場建築に2015年1月に着工し5月に完成した。
- ・支援校計25名の教員に、年200ドルに減額した教育支援金を支給した。
- ・2014年9月6日よりタットム小学校校長ヌウ先生、同校サレイ先生、通訳のタラさんの3人を日本に招聘し、日本語学習、マザー活動の研修を行なった。

### (2) 就学困難家庭への支援事業

- ・タットム、トロク両小学校の新入生約90名に制服及び文具を支給した。
- ・タットム、トロク両小学校卒業生に「卒業アルバム」を寄贈した。

#### <Mother to Mother事業>

- ・カンボジア内においては(株)ラッシュジャパンより200万円、JICAより100万円、庭野平和財団より40万円の助成金交付を受け、前年度購入した土地に作業所が2015年5月完成した。完成に伴い、ミシンを一台購入し、作業場の管理及びミシン作業を担当する母親2名の雇用を開始した。また多摩川コールタメイ小学校の貧困層家庭への導入を2014年8月より開始した。現在両校合わせて23名の母親が働いている。
- ・日本国内においては、販売協力園は40園と昨年から大きな増減はないが、販売額170万円から220万円に増やす事が出来た。生産量増加に伴い活動をより潤滑に行う為に有償ボランティアを1名雇用し体制を整えた。

### 3) 広報・啓発・調査事業

- ・「Small art school」の笠原先生による絵画指導を継続した
- ・トロピアンプレイ中学校に、(株)ラッシュジャパン社員の方々からの「学級文庫」設置の為に寄付を頂き、2015年2月4教室分の本棚と書籍を寄贈した。
- ・Mother to Mother活動担当の母親達には、子どもに教育を受けさせる大切さを引き続き説いた

- ・「カンボジア通信」vol. 14. 15の発行、ホームページの更新、近隣幼稚園、高校、大学への積極的な働きかけを通して事業の支援を求めるPR活動をおこなった。
- ・ウェブサイトについてはカンボジア通信vol. 14. 15を掲載するにとどまった。
- ・26年8月25日～30日（啓明学園生徒15名を含む34名）27年2月26日～3月4日（19名）の支援ツアーを実施した。
- ・啓明学園からバスケットゴールが2基寄贈され、多摩川コールタメイ小学校及びトロピアンプレイ中学校に一基ずつ設置した。（昭島ソロプチミストからのバスケットゴール寄贈は今期（27年度）になります）
- ・帰国したサレイ先生による日本語教室を教諭及び生徒の希望者により実施し継続している。
- ・アサヒ飲料（株）の福祉事業により、ASAPへの寄付金付き自動販売機が、群馬県桐生市の『医療法人山育会』「ショートステイデイケアセンター」及び「たかのす診療所」に設置された。一本販売ごとに20円の寄付金が設置者（山口典利様）よりASAPに寄せられる。これらはMother to Mother活動で作られ子どもたちに配布される「通学リュック」の買い取り費用に充てる。（年リュック100枚相当の予測）

#### （4）現地事務所運営事業

コンサンロート氏がプノンペンに拠点を移してから現地事務所及び現地職員は置かずに活動してきたが、現地通訳タラさん、日本語研修を終え帰国したサレイ先生に日本との連絡及び現地作業場管理補佐役を依頼した。また、笠原先生が開校する「Small Art School」と現地協力団体としての協力関係を結び、Small Art Schoolスタッフのヒアさんにコールタメイ地区での活動協力を頂くこととなった。

## 2. 平成 26 年度 収支決算(概要) (平成 26 年 7 月 1 日から 27 年 6 月 30 日まで)

Ⅰ 経常収入の部		Ⅲ その他資金収入の部	
1 会費収入	972,000		0
2 寄付金収入	4,663,142		
3 助成金	3,400,000		
4 売り上げ	2,251,540		
5 その他の収入(利息、為替差)	2,018		
<b>経常収入計</b>	<b>11,288,700</b>	<b>その他資金収入計</b>	<b>0</b>
Ⅱ 経常支出の部		Ⅳ その他資金支出の部	
1 事業費		短期借入金返済支出	79,213
(1)教育機関運営支援 ※	8,024,391		
(2)就学困難家庭支援	1,661,033		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	45,011		
(4)現地要員活動費	13,800		
2 管理費(通信運搬費・交通費・支払手数料・パート代等)	1,122,813		
<b>経常支出計</b>	<b>10,867,048</b>	<b>その他資金支出計</b>	<b>79,213</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>421,652</b>	<b>その他資金収支差額</b>	<b>-79,213</b>
※トロピアンプレイ中学校、コールタメイ小学校図書室、作業所建築費用一部または全額が含まれます		<b>当期収支差額</b>	<b>342,439</b>
		<b>前年繰り越し収支差額</b>	<b>4,861,338</b>
		<b>次期繰り越し収支差額</b>	<b>5,203,777</b>

若槻会計事務所 監査



### 3. 平成 27 年度 事業計画(事業の実施方針)

#### (1)教育機関の運営支援事業

- ・教科書、教具等の自主管理を目的とした生徒一人に対し年間 2 \$ 「学校運営費用」をタットム、トロク、多摩川コールタメイ、キロタチュム小学校において継続する。
- ・東京昭島ロータリークラブにより、中古自転車 40 台、メロディオオン 50 台が寄贈される予定。遠方からの児童への支給、及び音楽指導に活用する。
- ・支援当初に比べ教員数が倍増したタットム、トロク両校においては、計 21 名の教員に年額 100 ドルに減額した教育支援金支給を継続する。多摩川コールタメイ小学校及びキロタチュム小学校においては現状を見ながら支給額を決定する。

#### (2) 就学困難家庭への支援事業

- ・タットム、トロク両小学校の新入生へ制服及び文具の支給を継続する。
- ・タットム、トロク両小学校卒業生に「卒業アルバム」を寄贈する。
- ・「寄付金付き自動販売機」から寄せられる寄付金は、Mother to Mother活動で作られ子どもたちに配布される「通学リュック」の買い取り費用に充て、リュックは タットム、トロク、多摩川コールタメイ、キロタチュムの子どもたちに配布する。

#### (Mother to Mother 事業)

- ・**カンボジア内** 現地作業場の落成式を 2015 年 8 月に行う。運営を順調に進めるために母親 2 名の雇用を継続し、更に、村内に学費に困窮する家庭へ広報を目的とした立て看板を設置する予定。
- ・**日本国内** 昨年度と同程度の販売を目標にし、作業自体をより円滑に進められる体制を整える

#### (3) 広報・啓発・調査事業

- ・「Small Art School」の笠原先生による絵画指導を継続する
- ・Mother to Mother活動担当の母親達には、子どもに教育を受けさせる大切さを引き続き説く。
- ・サレイ先生による日本語教室を継続する。
- ・「カンボジア通信」vol. 16. 17の発行、ホームページの更新、近隣幼稚園、高校、大学への積極的な働きかけを通して事業の支援を求めるPR活動を行う。
- ・より情報を発信しやすいホームページ及びブログ、ネットショップの運営等に積極的に取り組む
- ・27年8月3日～8日（啓明学園生徒12名を含む18名）28年1月（詳細な時期参加人数未定）の支援ツアーを実施する。27年8月においては、昨年に引き続き啓明学園からバスケットゴール 2 基の寄贈を受け、（啓明学園を通じ昭島ソロブチミストより寄付をいただく）トロピアンプレイ中学校及び多摩川コールタメイ小学校において啓明学園生徒によるバスケットの導入を実施する予定。
- ・寄付金付き自動販売機の増設を積極的に依頼する

#### (4) 現地事務所運営事業

- ・タラさん、サレイ先生との連絡を密にし、学校及び作業場の運営管理が順調に進むよう体制を整え、Small Art Schoolスタッフのヒアさんにはコールタメイ地区のサポートを引き続き依頼する。

#### 4. 平成 27 年度収支予算(概要) (平成 27 年 7 月 1 日から 28 年 6 月 30 日まで)

Ⅰ 経常収入の部		Ⅲ その他の資金収入の部	
1 会費収入	900,000	短期借入金収入	200,000
2 寄付金収入	3,400,000		
3 助成金	0		
4 売り上げ	2,000,000		
5 その他の収入(利息、為替差)	2,500		
<b>経常収入計</b>	<b>6,302,500</b>	<b>その他資金収入計</b>	<b>200,000</b>
Ⅱ 経常支出の部		Ⅳ その他資金支出の部	
1 事業費		短期借入金返済支出	200,000
(1)教育機関運営支援 ※	1,345,000		
(2)就学困難家庭支援	1,770,000		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	195,000		
(4)現地要員活動費	200,000		
2 管理費(通信運搬費・交通費・支払手数料・パート代等)	869,000		
<b>経常支出計</b>	<b>4,379,000</b>	<b>その他資金支出計</b>	<b>200,000</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>1,923,500</b>	<b>その他資金収支差額</b>	<b>0</b>
		<b>当期収支差額</b>	<b>1,923,500</b>
		<b>前年繰り越し収支差額</b>	<b>5,203,777</b>
		<b>次期繰り越し収支差額</b>	<b>7,127,277</b>

26年度ご寄付頂いた皆様(順不同)。 その他40近くの保育園、幼稚園に販売ご協力頂いています。

(有)松村商店	長谷川 安年	上田 恵子	小山 広重	井上 巖尹	竹内 希衣子
明照幼稚園 杉田かつ子	長谷川 照代	平島 康子	船津 妙子	高橋 久美子	小山 善治
みその幼稚園 坂本静枝	勝西 光治・暉	浦野 悦美	船津 晴子	田倉 陽子	榊原 和子
万願寺保育園 長谷川	細谷 進	臼井 孝	向山 良子	大浦 真佐子	牛久保 奈未
かしの木幼稚園 土方	住本 典之	川邊 悟子	古谷 良司	小林 優文子	加藤 雄平
光の子保育園	小島 徳太良	工藤 和泉	松村 博文	杉浦 比登美	木村 輝幸
(株)桃源堂	竹内 たえ子	杉田 登章	安永 邦子	半田 孝好	伊藤 沙絵子
(有)IQ1 地村	瀧川 喜亘	小林 五月	山崎 芙蓉	原 欣也	渡辺 政雄
九十の会	瀧川 明子	櫻庭 玲子	吉田 勝重	土井 智生	松田 洋三
啓明学園	大沼 陽子	笹井 良太	吉田 泰輔	竹内 良三	長谷川 正
西武信金 秋川支店	高木 景子	清水 和子	三浦 修子	野本 俊子	多摩川幼稚園募金箱
いずみの会	内野 光裕	末宗 千代子	中野 直明	高橋 利一	新井 陽子
多摩信金 秋川支店	若槻 康二	高瀬 千尋	平野 隆夫	平野 異男	土岐 武弘
中国文化研究会より	中山 庸子	田澤 淳	近藤恵子	藤谷 正一	渡辺 (昭島RC)
(株)ラッシュジャパン(有志)	山下 総一郎	田辺 崇、多加子	第21 回 ツアー参加者	狩野周吉	小坂 世見
東京昭島RC	千葉 辰男	鶴田 一男	第22 回 ツアー参加者		
国際ソロプチミスト	千葉 妙子	田中 弘美			
FACTORY-B.CMつり大会	直井 誠	戸田 一誠			
医療法人三育会	湯目 秀人	戸谷 良子	基金及び助成金団体		
東京都私立幼稚園同友会	斉藤 君代	菅野 ミヨ子	(株)ラッシュジャパン		
(有)多摩川教育センター	北川 綾子	長谷川 義年、啓子	独立行政法人国際協力機構(JICA)		
(学)多摩川学園	橋本 直紀	岡部 道明	庭野平和財団		
	高橋 俊夫	谷津 慶次			

## 次回支援ツアー実施のご案内

次回現地支援ツアーを下記内容で実施致します。  
世界遺産のアンコールワット及び ASAP 支援先を  
訪問します。一般のツアーではなかなか出来ない  
子ども達との交流等をお楽しみ下さい



◆2016年1月23日(土)～28日(木)

◆費用 13万～14万 (お申込み時点の飛行機代金で変わります)

**正確な費用及び詳細はお問い合わせください。皆様の参加お待ちしております！**

### 編集後記

「いつやるの?」「今でしょ!」という勢いで昨年カンボジアから2名の先生と通訳さん一人を招聘しました。時期尚早ではないかという声もありましたが、今年になってみると理事長のケガ、作業所の誕生(招聘を決定した時には作業所建築は具体的になっていませんでした)など昨年実施しておいて本当に良かったとつくづく思います。チャンスと思ったらその時!という事を痛感しました。

このように順調な面もあれば、日本に届いた製品の「不良品」の山に頭を抱えることも相変わらず起きています。それを乗り越えられているのはボランティアの皆さんの存在です。資金的に支えて下さっている皆様、ボランティアで支えて下さっている皆様、心から感謝です!! (副理事長 大沼)

### 支援金寄付について

ご寄付頂く会費又は支援金は下記口座に振り込みをお願い致します。

- \* 正会員… 年 20,000 円
- \* 賛助会員… 毎月 1,000 円 (年額 12,000 円)
- \* その他支援金… 金額を問わず随時受け付けております

■郵便振替口座 00130-2-594647  
『NPOアジアの子供たちの就学を支援する会』

■西武信用金庫 秋川支店 033  
普通口座 1292601  
口座名 『NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会  
理事長 長谷川 安年 (ハセガワ ヤストシ)』

### ASAP カンボジア通信 <ASAP 会報 Vol.16 2016.10>

■発行 ※NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会  
(省略“ASAP” Asia School Attendance Partnership)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間 430 番地

TEL 042-558-0218 (多摩川幼稚園内)

FAX 042-550-2467

メールアドレス [asap@tamagawa-kids.jp](mailto:asap@tamagawa-kids.jp)

ホームページ <http://www.tamagawa-kids.jp/asap/>

■発行人 長谷川 安年